

使用禁止。又、同一ピット内での貸し借りは自由とするが給油タイミングが重ならない様に調整する事。

- JAF車両規則に従った牽引用穴空きブラケットを前後に装着する事を強く推奨するが、やむを得ない場合はノーマルの牽引フック部を塗装又はテーピング等でマーキングする事も可とする。(色は赤orオレンジ)
- 車両検査を受けない車両、及びその結果が不相当と判断された車両は出走する事が出来ない。但し決められた時間までに指摘内容を改修し再車検を受け、合格した車両については出走可とする。
- 競技終了後再車検を行う場合がある。また対象車両は正式結果発表迄の間は車両保管とし、一切の作業は禁止される。
- 車両検査及び再車両検査を拒否した場合は失格とする。

第 11 条 予選／決勝参加台数

- 予選台数:各クラス10台迄とし、万一超えた場合は予選A、B組に分けて行うものとする。
- 決勝台数:1レースのみとし、各クラス10台までの混走スタートとするが、10台に満たない場合は他のクラスから補充し合計20台迄とする。
※各クラスの決勝出場台数は公式通知にて発表する。
- 筑波サーキット(TC2000)開催時のみの特別ルール**
 - 予選を行いスターティングポジションを決定する。
 - 決勝レース出場台数を30台とする。(スタートはスタンディングスタート)
 - ピットレーン速度は40km/H以下となります。(受理書明記する)

第 12 条 競技内容及びペナルティ

- 参加者は必ず決められた時間に参加確認(受付)をする事。※事前に連絡無しで遅刻した場合はペナルティの対象となる場合がある。
- パドックは決められた場所に停める事。
- 車検の際、指摘された項目は速やかに修理し再車検を受ける事。
※再車検を受けて合格しない車両は出走できない。
- ドライバーズブリーフィングはドライバー又は代表者が必ず参加の事。遅刻、欠席の場合は出走できない場合がある。(ドライバー出席を推奨)
- コースインする場合はオフィシャルの指示に従ってコースインの事。
- 予選を走行できない車両はリタイヤ扱いとする。やむを得ず予選を走行できなかった車両は決勝出走グリッドに空きがある場合は最後尾スタートを認める場合がある。(スターティンググリッドに着けない車両はピットスタートとする)
- 予選中のフラッグ無視はベストタイムに5秒加算のペナルティとする。
- 予選終了時より決勝レースのコースイン迄の車両整備は自由とする。
- 決められた時間に決勝レースのスタードグリッドに整列できない場合はリタイヤ扱いとするが、ピットスタートを認める場合がある。
- スタート:F1方式とし、3分前(メカニック退去)、1分前(エンジン始動)、30秒後緑旗により1周のフォーメーションを行い、全車スタートグリッドに整列を確認の後、赤ランプ点灯5秒前ボード提示→赤ランプ点灯→0.2～3秒後赤ランプ消灯でスタートとする。
※詳細はH項による
- スタート時間よりトップ車両が規定時間を走りきった時点でレース終了とする。
※競技中に赤旗中断があった場合も終了時間の変更は無し。
又、何らかの理由でスタート時間が遅れた場合もチェッカー時間の延長は行わない。
- 競技役員の判定に対して、一切の抗議は認めない。

第 13 条 耐久レース補足規定及び旗の解釈

- グリッド上においてスタート出来ない車両がある場合は、そのドライバーは手を挙げて後続車に知らせる事。尚、その車両はオフィシャルによってコース外に搬送されピットスタートとする。
- コース上においてアクシデントが発生した場合の規定。
 - ポストにおいて黄旗振動表示を出す。出されたポストより追い越し禁止とし危険個所を通過の場合は速度を落とし、緑旗の出されたポストより再度追い越し可となる。(無視した場合はペナルティとなる場合がある)
 - コース上又はグリーン上においてリタイヤした場合は、セーフティカーを入れ

安全を期する場合が有る。その場合は全車追い越し禁止とする。

※メインタワー及び全ポストにて「SC」ボードの提示と黄旗振動。

- 複数のアクシデント及び主催者が危険と判断した場合、全ポストにて赤旗を提示しレース中止(中断)する場合が有る。各ドライバーは安全な速度でコース上のオフィシャルが指定する場所迄進行し停車する事。
この場合コース上では燃料補給以外の軽作業は許される。
又、赤旗提示時既にピットインしている車両については作業は続行できる。
- フラッグ無視及びルール・マナーに反した場合は「黒旗とゼッケン」を表示する。表示されたゼッケンのドライバーは3周以内にピットインし自己のピットに停止することなくピット出口からコースに復帰すること。(ドライブスルーペナルティ)
※レース終了間際の場合は結果のタイムに20秒加算される。
- オレンジディスクの場合は自己のピットに停止しオフィシャルの指摘事項を修理しオフィシャルの再確認でOKになれば再スタート可とする。

3. コースクリア

- ポストにおいて緑旗の振動表示が出され、そのポストの前を通過した車両から順次追い越し禁止が解除となる。
- セーフティカー活動後の再スタートはローリングスタートとしセーフティカーがピットロードに入り、メインタワーにおいて緑旗を振動し振られた車両からレース再開とする。

4. ピット

- 予選、決勝を通じてピットレーンでの速度は20km/H以下とする。明らかにスピードオーバーの車両はペナルティの対象となる。(TC2000の場合は40km/hとなります)
- セーフティカー活動中のピットインは自由とするがピットアウトする場合はピットエンドにおいてオフィシャルの指示に従う事。(隊列の最後尾にコースイン)
- レース中に最低3回のpitin,ドライバーチェンジ(ENGも停止)を義務づける。
※給油の為のPitInを含むが、ペナルティストップは回数には含めない。
- 燃料補給をする、しないは自由とするがオーガナイザーが指定する補給エリアに於いて行う事。又、給油中はアースケープルを装着し尚且つ火災に備えて消火器のノズルを給油口に向けていること。(安全の為ドライバーは降車していること)
給油エリアでは給油以外の作業は一切認められない。但し給油終了後に限り自己のピットにてドライバー交代を認める。
尚、給油容器は金属製の携行缶とし、1回の給油は20L以内とする。
- ピットエリアでのリバースギヤの使用は厳禁とする。もし自己のピットを通り越して停止した場合はエンジンを停止しオフィシャルの承認を得た上でピット要員により自己のピットに押し戻す事とする。(給油エリアも同様。)
- ピットインの場合は、いかなる場合もエンジンを停止しなければならない。
- 何らかの理由によりコース以外の部分を走行(ショートカット等)した場合はペナルティを課す場合がある。(例:ドライブスルーペナルティ)

第 14 条 賞典及び賞典の制限

- レース終了後に表彰式を行う。(同一クラスが15台以上の場合、そのクラスに賞金)

1位	クリスタルグラス	副賞	4位	クリスタルグラス	副賞
2位	クリスタルグラス	副賞	5位	クリスタルグラス	副賞
3位	クリスタルグラス	副賞	6位	クリスタルグラス	副賞
- 原則的に各クラス6位迄表彰を行うが、参加台数の30%を超えない台数に制限する。
- 各クラス共2台以下の場合は特別賞とする。

第 15 条 (付則)

- 参加車両名は15文字以内とし、公序良俗に反するものであってはならない。又、15文字の内に自動車製造者の定めた車名を入れなければならない。
例) ○○○○○○ビート ○○○○○○カプチーノ ミラターボ○○○○

第 16 条 損害の補償

- 参加者は、参加車両及びその付属品の破損、紛失等の場合、又は会場の器物を破損した場合、理由の如何を問わず責任を各人が負わなければならない。
- 参加者・ドライバー・ヘルパーは、オーガナイザー及び大会役員が一切の損害補償の責任を免除されていることを了承しなければならない。即ちオーガナイザー及び大会役員はその役務に最善を尽くす事は勿論であるが、その役務遂行

によって起きた、参加者・ドライバー・ヘルパーの死亡、負傷、車両損害

に対してオーガナイザー、大会役員は一切の責任を負わないものとする。

第 17 条 抗議 ※抗議料: ¥20, 300 (JAF規定に準ずる)

競技参加者の抗議は、抗議の趣旨及び理由を示す文書に署名の上抗議料を添えて競技長に提出しなければならない。

抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。

尚、他競技車輛に対する抗議は、レース終了後30分以内に提出されなければならない。又、抗議に際し競技車輛の分解等を要求された場合はエントラントは応じなければならない。(作業はエントラントが実施)

※但し、分解等の実施の判断は審査委員会が双方と調整の上決定する。

審査の結果競技車輛に問題が無かった場合、分解及び組み直し等に要した費用は抗議提出者が負担する。

※請求費用に付いては技術委員が算定する。

第 18 条 競技会の延期又は中止

- 万一、保安上又は不可抗力による事情が生じた場合、競技会オーガナイザーの決定により競技の延期、又は中止する事がある。その場合、参加料は返送料及び事務手数料として¥1000を差し引いた額が返還される。

第 19 条 公式通知

- 本大会特別規則書に記載されていない競技運営に関する実施細則及び指示事項は、公式通知によって示される。
- 本規則及び競技に対する細則の解釈に疑義が生じた場合は、大会役員の決定を最終とする。
- 本規則は参加受付と同時に施行する。

第 20 条 補足

- 2014年度はその他のクラス(主催者が特別認めた車両)を新設します。
- スプリントレースについての競技規則(細則)については別途定める。
※車両規則については耐久レースの車両と同じとする。
- スプリントレースの参加クラスは下記の通りとする。
軽自動車 オープン (770cc以下) 全クラス合わせて出走20台とする。
コンパクト オープン (770cc以下)
ツーリングカー (1600ccまで) マーチ、フィット、ヴィッツ、デミオ、他
※スプリント部門ははタイヤは自由とする。但しスリックタイヤはNG
- スプリントレースの周回/時間、参加費は下記の通りとする。
□筑波サーキット(TC2000開催)については
各クラス共:予選10分/決勝10周
参加料:¥18,000/台
※詳細はスプリントレース特別規則書を参照願います。

Mプロジェクト・レース組織委員会:(2013-12-17) 作成